

調査団体名	高松干潟を守る会	団体代表者名	柳川平和
活動地域	四日市市 高松海岸	団体URL	<a href="http://www.ccnemie.ne.jp/takamatuhighata/">http://www.ccnemie.ne.jp/takamatuhighata/</a>
<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>干潟の観察会、清掃活動、海岸植物の絶滅危惧種調査。  高松海岸の外来植物調査・・・3年前よりオオフタバムグラの駆除を始めた。  2003年10月にはアカウミガメも産卵した(散歩中の犬が掘り出す)。110卵産卵、孵化12卵を確認。  地域の小中学校の総合学習で干潟学習会を実施。4月18日(土)(三重県民の日)に、観察会を予定。  現地を訪問したとき、大型渡り鳥のホウロクシギ4羽、コサギ4羽、ユリカモメ100羽、カワウ1,000羽がいた。前日にオオソリハシギが親子で15羽がいた。かつてはミュビシギ約100羽の渡来地として有名(普通、表浜の環境にしかない)、ハマシギ1,000羽が来たこともあったが、どちらも最近は少ない。  向かいにある四日市港霞埠頭では、昨年夏、セイタカシギが3つがい繁殖した。(日本野鳥の会三重県支部)</p>			
<p>&lt;連携している団体・専門家・自治体など&gt;</p> <p>○野鳥の会とのバードウォッチング。  ○イベントの時に、行政・各種他団体等と共催したり、お手伝いをお願いする。  ○伊勢・三河湾流域ネットワークと「海の健康診断—アサリの調査」をしたことがある。</p>			
<p>&lt;今までに行った調査・研究&gt;</p> <p>○アサリの調査 ○バードウォッチング ○水生生物調査 ○植物観察  ○稚魚の調査 ○鈴鹿水産研究所に、昔の海岸線が分かる(等高線も)地図がある。  ○川越町の海岸線には、「亀」の字のつく地名が多い。養殖ノリの網にもよくかかったという。</p>			
<p>&lt;現在直面している課題&gt;</p> <p>海岸線に沿って臨港道路霞4号幹線工事が進行中。2005年より予算が付き、高速道路湾岸川越インターに接続予定で、下の写真が橋脚の現状。  2004年の台風で、朝明川から大量の土砂が流出し、中州ができて満潮時も冠水しない。その時から以前の砂浜が減少し、餌生物が減った。場所によって直角に抉れており、知らない間に埋められた産廃が出てきて、大きなコンクリートの塊もあった。堤防近くの産廃小山には、ハリエンジュの林があり、満開に咲いた桃の木もあった。</p>			
<p>&lt;今後どんな情報が必要か&gt;</p> <p>全域にいたコマツキガニが、砂の移動により、分布が局限された。そんな干潟を元気にするにはどうしたらよいかを知りたい。</p>			

